



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第425号

2019年10月7日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 高津山観音寺で行われている慰霊祭とは

1923年（大正12）9月1日、関東大震災が発生、その時軍隊と警察によって「朝鮮人が暴動を起こしている、井戸に毒を入れている」という流言・飛語が流され、多くの朝鮮人が自警団などによって虐殺されました。この時の犠牲者は5000～7000人と言われています。1910年「韓国併合」以来、日本に多くの朝鮮人が移り住んでいました。八千代市にも犠牲者がいました。日本共産党市議団は、この朝鮮人虐殺を慰霊する高津山観音寺の慰霊祭に毎年参加しています。

## 若い世代に受け継がれる歴史の真実

1976年、習志野市の中学校の郷土史クラブ（顧問は八千代市在住）の生徒たちが、八千代市で起きた朝鮮人虐殺の歴史を聞き取りました。

高津地区の当時を知る人は、軍隊から「朝鮮人を取りに来い」という命令を受け、6人の朝鮮人を殺害し「なぎの原」に埋めたと語りました。地区の人は、事件を長い間忘れることができず、胸に秘め心を痛めていました。

その後地区の人たちは、1982年に観音寺の住職に犠牲者を弔いたいと申し出て、角塔婆を立て供養しました。そして1998年に関係者の協力を得て、6体の遺骨が掘り出され虐殺の真実が明らかになりました。

観音寺には韓国から送られた色彩豊かな「普化鐘楼」が建立され、毎年慰霊祭には地区の人や韓国からの人や関係者が多数参加しています。

数年前から東京成徳大学の学生たちによる調査・研究の報告も行われています。



## 過ちを繰り返さないために歴史を学ぶ

今年の慰霊祭（9月8日）では、武蔵野大学の3年ゼミ生による朗読劇【骨は叫ぶ～96年前の記憶～】が演じられました。デマ宣伝の怖さ、軍の命令に逆らえず朝鮮人を殺さなければならなかった苦しみを表現していました。

「私たちはこの関東大震災の時に起きた朝鮮人大量虐殺事件を過去の出来事と片付けてはいけません。なぜなら、その朝鮮人を殺した人々が私たちと何も変わらない人たちであったからだ。」と。

このような貴重な歴史を学ぶ機会があるのです。尚、朝鮮人虐殺の歴史を掘り起こした記録が「いわれなく殺された人びと」として、1983年に出版されています。

私たち八千代市に住む市民として、このような歴史を直視し、韓国との信頼・友好関係を築くことで、平和な北東アジア実現に貢献できるのではないのでしょうか。